

今号のトピックス ■認定インストラクターの寄稿 「沖縄県でTHlnet インストラクターを増やしたい！」
 ■日本眼科医会から子どもの目・啓発コンテンツのご紹介 『ギガっこ デジたん』

「沖縄県でTHlnet インストラクターを増やしたい！」 認定インストラクター 高宮城 修 さん

今回は、沖縄県でネットいじめパトロール隊、子どものスマホ・スマイル協議会代表として活動されている高宮城修さんに、会発足の目的や活動の広がりについて、また当会認定インストラクター講習会を受講された理由などについて寄稿いただきました。

ご自身は、沖縄市教育委員会教育研究所ネットいじめ防止対策推進員として、市内の小学3年生から中学3年生の情報モラルの授業を担当されています。



会発足と活動の変遷、沖縄県との協働

平成25年5月、小学校の保護者8人が隊員となり、ネット上のいじめ対策やトラブル防止啓発活動を目的に「ネットいじめパトロール隊」を発足いたしました。

現在では、事案もネットいじめの掲示板への書き込み等から匿名によるSNS、密室のLINEいじめ増加により、ネットパトロールから児童生徒、先生、保護者への情報モラル、リテラシー関連の講演会による啓発活動が中心となっています。

スマホ・ゲームに関する相談も増え、ネットいじめに関しては「ジョーダン、からかい」が相手の心を傷つけていることに気づかない、相手の心の痛みを想像できない、罪の意識がない児童生徒が増え、名誉毀損や侮辱罪などの法律に関する指導の必要性も実感。そこで県の協力を得てスマホのトラブル防止や健康問題に関する講習会講師として沖縄本島、離島の小中高への講習活動も実施しています。

認定インストラクター講習受講のきっかけと活動の広がり

講習会の実施回数に比例して、スマホ・ゲームの長時間利用による生活習慣の乱れ、学校への行き渋りの相談も増え、解決の糸口を得るためTHlnetの講習を受けることにしました。

講習で得た知識を活かし、スマホ・ゲームの長時間利用による行き渋り、不登校の児童生徒の支援相談業務も担当することになりました。

長時間利用・生活習慣の乱れから児童生徒が「脱出する一歩」となる動機付けのヒントを面談からみつけ、支援員や臨床心理士に面談情報を引き継いでいます。THlnetの講習で学んだ内容を学校現場の面談で活かしたことにより、児童生徒支援策のヒントに繋がるということで養護教諭や公認心理師の研修会などにも講師として講演依頼があり活動の幅も広がりました。

「八重山地区子どものスマホ・スマイル協議会」の発足と新たな決意

また、八重山地区の教育関係者から強い要望を受け、スマホやゲームとの健全な付き合い方について情報共有、研究する民間団体「八重山地区子どものスマホ・スマイル協議会」を令和2年7月に発足しました。

子どもの心と体に悪影響を与えないスマホの使い方などについて意見を交わし、それぞれの家庭に合った形の運用方法を考えていくという方針を達成したいと考えています。そのためにも沖縄県でTHlnetインストラクター取得者を増やしていきたいと思っています。



日本眼科医会から子どもの目・啓発コンテンツが制作されました。

「ギガっこ デジたん」

https://www.gankaikai.or.jp/info/post_132.html



〔出典/日本眼科医会 HP〕

ご意見・ご感想をお寄せいただくと幸いです。
 連絡先：養成協 HP よりメール(燈火編集長 矢野)